

☆健幸まちづくりに向けた成果連動型手法(SIB)を活用した自治体連携ヘルスケアサービス構築事業

- ・ICTを活用し川西市・見附市・白子町の飛び地型自治体連携による全国初の取組。
- ・町民が100歳まで生きがいを持って暮らせる「健幸都市」の実現を目指し、平成30年度より開始。5年後に3市町合計1.8億円の医療費抑制を目指す。
- ・事業は**成果連動型**により、民間ノウハウを生かし官民一体となって、質の高いサービスを町民に提供。

特徴①：健康無関心層を取り込む健幸ポイントプログラム

- ・町民の7割を占める健康無関心層を行動変容させるために、ICTを活用したヘルスケアサービスを3市町1万人を対象に提供。
- ・ウォーキング、体組成の改善、健診受診等を行うことでポイントを付与、貯まったポイントは地域商品券等と交換し、**健康＝地域活性化**につなげる仕組み。

特徴②：成果が確認されたプログラムを提供

- ・プログラムは**筑波大学の研究成果を踏まえたエビデンスに基づくプログラム**を提供。

【事業開始後3年間の成果】

無関心層の切り崩し

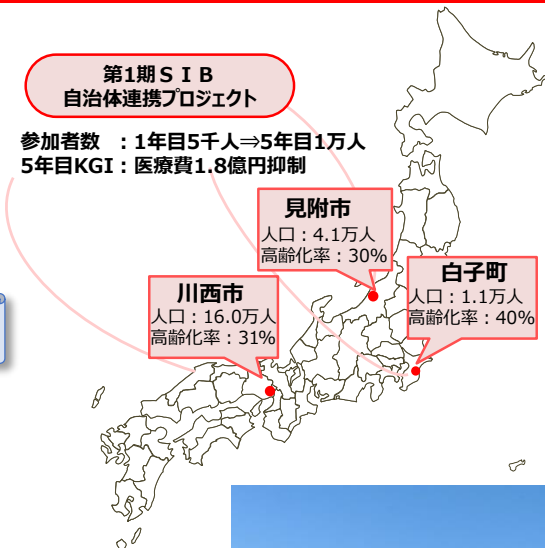
- ・3市町 **8千人**が参加
- ・参加者の**7割**が運動不十分層

歩数向上・継続化

- ・運動不十分層の歩数が増加
開始3カ月で**+1,316歩** (n=1317)
- ・その後も**9割以上**が継続
平均**7,339歩** (n=4,373)

医療費抑制

- ・**年間5万円／人**の医療費抑制が期待される
- ※2020年中間評価実施



プロジェクトへの寄付メリット

- 広報誌への寄付企業の掲載
- 参加者への寄付企業PR
- 町公式サイトへ企業を掲載

【連絡先】白子町健康福祉課健幸づくり室 健幸づくり係

TEL：0475-33-2179 メールアドレス：hoken@town.shirako.lg.jp